

## 会 議 録

会 議 名	平成30年度第1回野田市国民健康保険運営協議会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	1 平成29年度野田市国民健康保険特別会計決算(案)について(公開) 2 平成30年度野田市国民健康保険特別会計補正予算(案)について(公開) 3 平成30年度の国民健康保険運営協議会開催スケジュール等について(公開)
日 時	平成30年8月20日(月) 午後6時30分から午後7時15分まで
場 所	市役所2階 中会議室1.2
出席者氏名	委員 遠藤 正委員、直井 治委員、岡田 邦子委員、石原和子委員、渡邊 隆委員、谷口 勲委員、児玉 雅仁委員、山本 園子委員、稲富 佐斗子委員、柳 久之委員、古山 まり子委員、田中 かよ子委員 事務局 牛島 修二市民生活部長、小島 信明国保年金課長、中代 英夫保健センター長、代田 明洋収税課長、山本 茂国保年金課長補佐、海老原 純一収税課長補佐、小澤 弘雅市政推進室副主幹、秋鹿 弥由紀保健センター健康増進係長、岡田 尚子国保年金課国保給付係長、金剛寺 弘之国保年金課国保料係長
欠席委員氏名	中村 ちひろ委員、関根 通子委員、竹澤 浩美委員
傍 聴 者	1名
非公開の事由	
議 事	平成30年度第1回国民健康保険運営協議会の会議結果は次のとおりである。

市民生活部長	<p>開会の言葉</p> <p>傍聴者が1名いる旨、傍聴者は入室の許可があった場合に入室できる旨、途中からでも入室できる旨及び会議の録音の了承願いを述べた後、議長である会長と交代</p>
柳会長	<p>挨拶及び議事運営協力依頼後、開会宣言</p> <p>委員15名中、3名欠席であるが、野田市国民健康保険条例施行規則第4条の規定により過半数の委員の出席により会議が成立すること及び会議録の署名人を石原委員と児玉委員に依頼し、傍聴者の入室許可。議事に入る旨、説明</p> <p>議題1「平成29年度野田市国民健康保険特別会計決算(案)について」を議題とする。</p>
国保年金課長	<p>議題1「平成29年度野田市国民健康保険特別会計決算(案)について」</p> <p>まず、本市の国民健康保険の状況について、平成28年10月からの社会保険加入の要件緩和などにより、28年度4万3,456人であった被保険者数が29年度は4万1,324人となり、2,132人減少している。</p> <p>続いて、医療費総額(保険給付費)の推移であるが、被保険者数の減少に伴い、29年度の医療費は約152億6,000万円となり、28年度と比較して約4億4,000万円減少した。</p> <p>次に、平成29年度の決算の状況についてであるが、歳入の状況、歳入合計は221億7,086万6,624円となり、被保険者数の減少などに伴い前年度に比べ3.95%の減となっている。</p>

主なものとしては、保険税は45億9,356万8,279円、前年度比2.42%の減、国庫支出金は36億6,048万2,405円、前年度比4.39%の減、療養給付費交付金は2億7,906万7,000円、前年度比40.42%の減、共同事業交付金は41億9,554万5,813円、前年度比6%の減、前期高齢者交付金は66億9,628万9,838円、前年度比8.11%の増、繰入金は11億1,079万8,706円、前年度比41.30%の減となる。

続いて歳出の状況、歳出合計は209億1,739万1,425円となり、こちらも被保険者の減少に伴い前年度に比べ2.91%の減となっている。

主なものとしては、保険給付費は128億7,177万5,155円、前年度比2.78%の減、共同事業拠出金は42億8,407万4,063円、前年度比4.4%の減、前期高齢者拠出金は893万5,039円、前年度比383.81%の増、後期高齢者支援金は24億4,496万2,853円、前年度比3.23%の減、保健事業費は1億2,344万6,441円、前年度比2.69%の減となる。

続いて、歳入と歳出の差引額は12億5,347万5,199円となり、こちらが29年度の剰余金となる。

この剰余金については野田市国民健康保険特別会計財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例において、剰余金の2分の1以上を基金に積むこととされている。

よって、剰余金のうち既に平成30年度予算で計上している30年度への繰越額2億2,737万円を差し引いた10億2,610万5,199円を基金への積立額としている。

続いて、国保財政調整基金の状況であるが、剰余金の積立て等を行うことにより30年度末の基金残高の見

	<p>込み額は28億8,136万159円の予定となっている。</p> <p>続いて、国民健康保険財政調整基金残高の推移であるが、29年度、30年度と大幅に増加している。</p> <p>続いて、保険税の調定額、収納額、収納率の推移（現年分）であるが、被保険者数の減少に伴い調定額と収納額は減少しているが、収納率は大幅に上昇している。このように、収納率の上昇及び保険給付費の減少等が財政調整基金残高の増加の要因となっている。</p> <p>なお、平成30年度の保険料率については、基金を活用して引下げを行ったが、基金の残高も多い状況にあることから、31年度の保険料率についても引下げを行いたいと考えている。このことから、31年度の保険料率の引下げについて、来年3月議会での国民健康保険条例の改正に向けて今後引下げの具体的な数値をお示しするので、運営協議会において御審議いただきたい。</p>
柳会長	<p>これより質疑に入る。何かないか。</p> <p>では、私から、収納率が年々上がっていることが要因で基金に回すお金も増え、保険料率の引下げにつながったとの話だったが、いわゆる漸増傾向にあるがこの主な要因というか、収税の方々の努力というのはどんなものが顕著に表れたと考えているか。</p>
収税課長	<p>25年度から微増傾向であったが、特に28年度、29年度大きく上がっているので、28年度からの主な取組について簡単に御説明する。</p> <p>27年度に、他の市町村で収納率が良い団体と野田市の違いが何なのかという研究をし、28年度から徴収方針を大きく転換して、それまでどちらかという分割</p>

<p>柳会長</p>	<p>納付中心の納付相談を多く受けているという形だったのを、法律どおり滞納処分を粛々と進めていくという形に転換を図った。また、28年度は東京都の主税局機動整理課が先進団体なので、野田市の職員を1名派遣し、特殊な滞納整理技法の習得に努めており、これは29年度、30年度も人を変えて現在も継続中である。</p> <p>29年度の取組は、それぞれ徴収職員というのは担当を持っているが、28年度までは地区別に担当を持っていた。この方式は、過去に臨戸徴収が盛んに行われていたときはメリットであったが、デメリットとしてはすごく滞納金額が少ない方もすごく滞納額が多い方、長期にわたる方も受け持つことになり、非常に様々な案件を受け持つことになって、難易度が高い。そういったことから、滞納額に応じて金額別担当制というのを実施し、初動整理班、滞留事案班、困難事案班というような形で、なるべく徴収職員が同じようなケースの方を大量に整理できるような体制にした。その他、一般職の非常勤職員として、市税等納付推進員を新たに雇用し、納金の収受、国保であれば国保税を納めに来た方の金額の領収や口座振替の促進の勧奨、各種調査の補助等、これまでは徴収職員が行っていたこれらの業務を納付推進員に担わせることにより、徴収職員がより滞納処分業務に特化できるような形を採った。それらのことが功を奏して収納率の向上につながったと考えている。</p> <p>東京都の主税局のアドバイスというか、事例みたいなものが参考になっているのか。</p>
------------	---

収税課長	<p>金額別担当制は市税で県内54団体のうち収納率が一番良い市川市の取組を参考にした。納付推進員については、結果的に先にやっている所があったが、一応オリジナルで考えたものである。東京都では、自動車のタイヤロックや店舗のレジの差押えなどを実践的に教わっている。</p>
柳会長	<p>東京都の関係でいうと、単に国民健康保険税じゃなくて、いわゆる市民税とか、そういうものの全体的な勉強をしているのか。</p>
収税課長	<p>具体的には、法人税の担当をさせていただいている。</p>
柳会長	<p>収納率がアップすることはとても良いことだし、他のきちんと納めている被保険者にとっては、平等の意識になるので、引き続き進めていただきたい。</p> <p>あと、医療費の推移というのも面白いと思って見ているが、野田市は全国平均よりは低いというようなことになっている。千葉県はさらに低い、これは関東は病人が少ないということなのか。</p>
国保年金課長	<p>全国的なものについては把握してないが、千葉県だと房総の方が医療機関が少ないということで、ちょっとした病気では受診しないと聞いている。</p>
柳会長	<p>なるほど。お医者さんに行けないのか。</p>
岡田委員	<p>医療費を全然使っていない人もいると思うが、そういう人の把握などはしているのか。</p>

<p>国保年金課長</p>	<p>この表は平均なので、医療費総額を被保険者で割った数字になっている。全然使わない人の人数などは把握していない。</p>
<p>岡田委員</p>	<p>何人というか、何%ぐらいは使っていないとか分からないか。</p>
<p>国保年金課長</p>	<p>データを取っていないので分からない。</p>
<p>柳会長</p>	<p>決算の状況に戻るが、歳入マイナス100%というのが繰入金で出てくる。歳出で前期高齢者拠出金がプラスで383.81%というのは、何か予算の組替えというか、枠の設け方の違いとか、制度上の問題としてあったのか。</p>
<p>国保年金課長</p>	<p>歳入の繰入金は、法定外繰入の1億5,000万円が皆減、これは赤字補填のための法定外繰入ということで1億5,000万円計上していた。法定外繰入については、一般会計から入れているため、社会保険に加入している人も間接的には税金で納めていることから、二重の保険料を払うという形になり、これはあまり宜しくないと国からも言われており、今回黒字ということもあり繰り入れなかったことから100%減となった。あと財政調整基金繰入金についても、赤字になる場合に備えて4億5,000万円計上していたが、これも黒字になるため基金に据え置いている。</p> <p>歳出の前期高齢者拠出金は、前年度比383.81%の増について、前期高齢者である65歳以上74歳までの被保</p>

<p>会長</p>	<p>険者が国保自体で増加している。前期高齢者は国保が        社保退職により多くなるので、一人当たりの需要調整        額、社会保険や国保や全国健康保険協会など他の保険        と調整をしていただいている額、その調整の一人当        当たりの金額が28年度は57円だったものが195円に増額        したことが大きな要因になっている。</p> <p>他に質疑はないか。</p> <p>[ 発言する者無し ]</p>
<p>柳会長</p>	<p>以上で質疑を終了する。議題1「平成29年度野田市        国民健康保険特別会計決算（案）について」は、原案        のとおり了承することで異議ないか。</p> <p>[ 異議無し ]との声有り</p>
<p>柳会長</p>	<p>異議無しとのことなので、議題1「平成29年度野田        市国民健康保険特別会計決算（案）について」は、事        務局の説明どおりで決定する。</p> <p>次に、議題2「平成30年度野田市国民健康保険特別        会計補正予算（案）について」を議題とする。</p>
<p>国保年金課長</p>	<p>議題2「平成30年度野田市国民健康保険特別会計補        正予算（案）について。」</p> <p>この補正予算（案）は、9月に開催される定例市議        会への議案として提出しようとするものである。</p> <p>歳入歳出予算については、既定の歳入歳出予算総額        にそれぞれ7,202万7,000円を追加し、歳入歳出予算の</p>

<p>柳会長</p>	<p>総額をそれぞれ180億7,702万7,000円にしようとするものである。</p> <p>歳入は、県支出金は国保の広域化に伴う国保事業報告システムの改修に伴う交付金27万円と退職被保険者の保険給付費の交付金7,175万7,000円を合わせた7,202万7,000円を増額補正するものである。</p> <p>次に、歳出は、総務費で国保の広域化に伴う国保事業報告システムの改修に伴う費用27万円を増額補正、保険給付費は、国保の広域化より千葉県から退職被保険者の保険給付費として2,017万5,000円の額が提示され、これを元に予算措置を行ったところ、県の提示額が誤りであったため、予算の不足が生じた。このため、9月支払い分までの不足額1,949万9,000円は予備費充当により対応し、10月以降の支払分5,225万8,000円について増額補正するものである。</p> <p>なお、今後予算編成作業においては、県からの提示額を信用してそのまま鵜呑みにするのではなく、県から提示された数値についても充分検証しながら作業を進めて行きたい。</p> <p>次に、基金積立金は、29年度において利子積立額が40万1,000円と決定したが、予算計上が9万7,000円であったことから積立てできなかった30万4,000円について増額補正するもの。</p> <p>次に、予備費は、歳入歳出の調整とともに、今後の予算不足等の事態に備え、1,919万5,000円を増額補正するもの。</p> <p>質疑に入る。</p>
------------	---

田中委員	なぜ、県は保険給付費の金額を誤ったのか。
国保年金課長	はっきりと判明していないが、県はシステム上で試算をし、その試算を県の委託業者に渡している。委託業者に伝えたものが誤っているのか、委託業者が誤って入力したのか、まだ解明できていないが、そういうことで誤ってしまったという経緯である。
田中委員	今後は市で県から来た数値を確認するという作業をするとのことだが、それは簡単にできることなのか。
国保年金課長	退職被保険者というのは31年度でなくなる制度であり、被保険者が減っている。その中で、一人当たりの医療費がどのくらいか市のほうで経年的に分かっているので、それに対して被保険者を掛けてどのくらいのものが必要か、それと県から示された数字がどのくらい乖離があるのかということで検証したいと思う。
柳会長	県で誤りがあったとして、それを市の側でチェックして、これは誤りじゃないかということとはできないのか。あくまで県の言いなりで、最終的に調整ということがあったとしても、当初の段階でこれはおかしいのではないかと違うのではないかとということをチェックできるシステムにはなっていないのか。
市民生活部長	今、国保年金課長から説明をしたとおり、まずは一義的に県からの提示額に誤りがあったというのは、これ事実であるが、それをなぜ市が見抜けなかったのか。これは、当初予算を編成しているのは市であるので、

	<p>県からの提示額といっても、やはり極端な話、例えば2億円必要であるべき数字が10分の1の提示額であった、その10分の1であることに疑問を持たなかったのかということについては、大いに反省すべき点だと私共も痛感をしている。</p> <p>要するに予算編成、これは市の一般会計もそうだが、当然予算を組み立てる上で今まで例えば過去3年間の実績、決算額、そういったものの平均値を使うなど、上昇率を乗じて次の予算を編成するという慣例としてやっている中で、同じような考え方でこの数字についても見ていけば、その10分の1、例えば2億円なければいけないものが2,000万円しかなかったことに疑問を持つのは当然である。その辺を事務的に処理することなく、今後私共の予算編成時において、県からの数字についてもそういう観点でチェックをしていこうと考えている。</p> <p>今後制度上そういったものがなくなるという説明もあったが、他の数字もそういった観点で常にチェックをして行きたい。</p> <p>広域化が、初年度だということや、いろいろな問題があって、間違いは仕方がないけれども、それをチェックするシステムだけは確立しておいていただき、次につなげるということをやってほしいと思う。</p>
<p>柳会長</p>	<p>補足で、皆様御存知かと思うが、今回補正をお願いする歳出は、県からの給付金ということで、出た分は県からそっくりそのまま入ってくるということで、まさに予算上は行って来いの予算で、今回のこの補正に</p>

柳会長	<p>当たってその分歳出が増えたというようなことではない。</p> <p>ある種極めて事務的な処理をせざるを得ないというようなことだね。</p> <p>他に質疑はないか。</p> <p style="text-align: center;">[ 発言する者無し ]</p>
柳会長	<p>以上で質疑を終了する。</p> <p>議題2「平成30年度野田市国民健康保険特別会計補正予算(案)について」は、原案のとおり了承することで異議はないか。</p> <p style="text-align: center;">[ 異議無し ]との声有り</p>
柳会長	<p>異議無しということなので、議題2「平成30年度野田市国民健康保険特別会計補正予算(案)について」は原案どおり了承された。</p> <p>次に議題3「平成30年度の国民健康保険運営協議会の開催スケジュール等について」を議題とする。</p>
国保年金課長	<p>議題3「平成30年度の国民健康保険運営協議会開催スケジュール等について」</p> <p>今年度の運営協議会については、今後2回の開催を予定している。2回目は12月下旬に開催し協議事項は平成31年度の保健事業及び31年度の保険料について、3回目は平成31年1月下旬に開催し協議事項は31年度の保険料及び31年の予算案についてを予定している。</p>

柳会長	<p>今後の会議、6時半開催になっているが、だいぶ前に平日の昼間というような話もあったが、まだ6時半開催ということで進むのか。</p>
国保年金課長	<p>昨年度と今年度について午後6時半に開催しているが、これは、被保険者を代表する委員の公募をしたときに夕方からの開催と言っているので、今年度については申し訳ないが、午後6時半からの開催を予定としている。来年度については、委員の皆さんが昼間で良いということであれば、昼間にしたいという考えも持っている。</p>
柳会長	<p>了解。医療関係の方は昼間だと医院を開いておられるというようなこともあるでしょうから、皆さんが最大限出られるような日程を調整していただければと思う。</p> <p>質疑はあるか。</p> <p style="text-align: center;">[ 発言する者無し ]</p>
柳会長	<p>細かな日程については、事務局を通じてまた連絡があると思うので、委員の皆様にはよろしく御協力をいただきたい。</p> <p>議題3「平成30年度の国民健康保険運営協議会開催スケジュール等」について、事務局の説明のとおり了承するというところで異議はないか。</p> <p style="text-align: center;">[ 異議無し ]との声有り。</p>

柳会長	<p>日程はなるべく早く決めていただき、皆さんのスケジュールを確保できるようにしていただきたい。</p> <p>他に何か連絡事項などはあるか。</p>
国保年金課長	<p>その他の案件として、1件報告する。当運営協議会の委員である岡田邦子様について、8月1日付で千葉県知事より千葉県国民健康保険運営協議会の委員に委嘱された。</p> <p>なお、任期については、平成33年7月31日までの3か年となる。</p>
柳会長	<p>岡田さん、大変ですね。</p> <p>県は何回ぐらい開催するのですか。</p>
岡田委員	<p>2回です。</p>
柳会長	<p>年2回</p>
岡田委員	<p>はい。</p>
柳会長	<p>何人ぐらいの組織になっているのか。</p>
国保年金課長補佐	<p>協議会委員は14名である。</p>
柳会長	<p>せっかくの機会なので、御出席いただき、いろいろとフィードバックできるものがあったら教えていただきたいと思う。よろしく願います。</p> <p>それでは、以上をもって第1回野田市国民健康保険</p>

	<p>運営協議会を終了する。 御協力感謝する。</p>
--	---------------------------------